

Welcome To Our Company!

今回の登場人物



おおつか りょうた
大塚 陽太さん
入社4年目/機装部



たけだ りん
武田 蓮さん
入社4年目/機装部



ありた じょう
有田 文さん
入社4年目/機装部



あかいし そうじろう
明石 蒼治郎さん
入社4年目/機装部

— どんな仕事をしてる? —

大塚さん(以下㊤) 4人全員機装部の船舶エンジニアです。船のエンジンをバラバラにして洗浄したり、プロペラを調整したり、船の修理全般を担当しています。

有田さん(以下㊦) 僕たち全員、大塚に誘われて入社したんです。武田さん(以下㊧) みんな同級生なんです。

明石さん(以下㊨) 僕は理学療法士の専門学校に通っていたんですが、船という大きな仕事に惹かれて誘いに乗りました。

— 会社・業務の好きなところ —

㊤ 沢山の資格が取得できることです。船の仕事は難しいことも多いですが、共栄船渠には成長できる環境が整っています。

㊦ 自分たちの手掛けた船が元々よく海に出ていく場面はいつ立ち会っても感動します。それがやりがいであり、仕事の原動力です。

㊧ 社内の風通しがいいところで



佐伯発、粹で元気な企業と働く人々をご紹介します。

イキな佐伯のひとと企業
Vol.19
GoGoSaiki!

今回は 1973年に東九州唯一の船舶修理会社として設立された

共栄船渠株式会社

— 頼れる船のお医者さん —

共栄船渠は船舶の修理に特化した、いわば「船の総合病院」です。現在は全国を巡る商船を専門に、年間400隻ほどの船の点検・修理を実施。全国的にも珍しい、潮の満ち引きに左右されない浮きドックを備えるなど、技術面、設備面共に充実を図り、東九州最大規模の商船専門修理会社として正確でスピーディな仕事を心掛けています。

— 森林を育成し、CO₂を吸収 —

共栄船渠のスローガンは地球に家賃を払いましょう。未来のために

佐伯に根ざし、海の安全を守る

環境保護やSDGsに積極的に取り組んでいます。その主な活動は植林。業務を通して排出される月約200トンのCO₂を削減するため、佐伯市内を始め、インドネシア、熊本県小国町で森林を育成。排出量を上回る月約500トンのCO₂を削減しています。

— 未来を見据え、若手を育成 —

佐伯の恵まれた海・港は素晴らしい可能性を秘めています。事実、世界的に注目を集めていた時代もありました。現在は港を活用しきれないと感じています。海・船の安全を守るとともに、佐伯港にかつての賑わいを取り戻すこと、それが地域に根ざす企業の使命であると考えています。その想いを実現するために、地元の若者の雇用と技術者の育成に注力しています。



溶接など様々な技術を用い、船舶を修理



— 今後、取組みたい仕事 —

㊤ 上司や社長がしっかりサポートしてくれるので心強いですね。上下関係なく気軽に相談できる雰囲気があり、先輩から学ぶことも多いです。

㊦ 同世代の仲間と助け合えるので、仕事が楽しいです。悩みも相談できるし、プライベートでもよく遊びます。

㊧ まだ4年目なので、自分のスキルアップが当面の目標です。せっかく同級生が揃っているのでもんだいチームをつくり、会社を盛り立てていけたら最高です。

㊨ 今のスキルを磨き上げてもっと世の中の役に立つ仕事がしたいです。そしていつか学んだ技術を生かして起業したいと思っています。その時は共栄船渠と同じように佐伯に貢献したいですね。



共栄船渠株式会社
佐伯市大字鶴望4665番地
TEL 22-8646 FAX 23-4589
https://kyoei-dock.com/

代表者:山本 健二
設立年月:1973年12月
資本金:3000万円
売上高:18億円
従業員数:27人(協力会社67人)



こちらから動画をご覧いただけます。

小粋なTopics

スタッフのおしごと 佐伯スポット

瀬会公園 キャンプ場

自然を満喫できるレジャースポット! キャンプ場や「日本の水浴場88選」に選ばれた海水浴場、絶景を望む展望台があり、通年楽しめます。